

2019年4月入学

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科
博士課程

ART プログラム特別入試
学生募集要項

GRADUATE SCHOOL OF MEDICINE, DENTISTRY AND
PHARMACEUTICAL SCIENCES

OKAYAMA UNIVERSITY

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科

鹿田キャンパス

連絡先 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科等学務課教務グループ

所在地 〒700-8558 岡山市北区鹿田町2丁目5番1号

電話 (医学系) 大学院担当 TEL086-235-7986 (直通)

<http://www.hsc.okayama-u.ac.jp/mdps/>

《 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー） 》

大学院医歯薬学総合研究科博士課程では、次のような学生を求めています。

- ◆ 医学・歯学・薬学の創造的研究，学際的研究，国際的研究を志す人
- ◆ 高度先端医療，全人的医療を志す人
- ◆ 社会人として活躍しながら研究を志す人

目 次

I 募集人員	1 ページ
II 入試日程	1 ページ
III ART プログラム特別入試	2 ページ
IV 研究科案内	7 ページ
V 人材養成目的と教育目標	12 ページ
VI 教員組織と研究内容	14 ページ

ART プログラム特別入試の特徴等

1. 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科では，ART プログラム（Advanced Research Training program，先進医学修練プログラム）により，優秀な医学研究者養成を目指しています。
2. ART プログラムとは，岡山大学病院又は岡山市立市民病院で「**卒後臨床研修**」を受けながら，研修1年目から「**大学院博士課程**」への入学が可能な“学部と大学院をシームレスに連結する”キャリアパスプログラムです。
3. 本研究科では，ART プログラムを推進するため，「ART プログラム推進室」（管理棟5階 総合内科学分野内）を設置しています。
4. ARTプログラムで入学する場合の履修コースは，IV「研究科案内」のうち(1) 一般コース，(2) 臨床専門医コース（医学系），(4) がんプロフェッショナルコース（医学系）(6) 分子イメージング教育コース（7）アカデミックGP養成コースとなります。Pre-ART履修者がすべての単位を引き継ぐ場合は，一般コースとなります。
5. ARTプログラムで入学する場合の指導教授としては，VI「教員組織と研究内容」のうち学系区分が医学系の教育研究分野が対象となります。

※本募集要項においては，次のとおり略記を使用しています。

卒後臨床研修 … 医師法（昭和二十三年七月三十日法律第二百一号）第16条の2 第1項に規定する臨床研修

ART プログラム HP <http://art-med.jp/>

入学試験に関する照会先

鹿田キャンパス

〒700-8558 岡山市北区鹿田町2丁目5番1号

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科等学務課教務グループ

（医学系）大学院担当 TEL086-235-7986

募集要項等の郵送を希望する場合は，「医歯薬学総合研究科（博士課程）ART プログラム特別入試学生募集要項請求」とし，返信用封筒（角形2号の封筒に郵便切手250円分を貼付したもの）を同封して，上記あてに請求してください。（速達での送付を希望する場合は，上記郵便切手250円分に加えて，速達料金280円分の郵便切手を追加してください。）

I 募集人員

専攻	2019年4月入学 募集人員
生体制御科学専攻	若干人
病態制御科学専攻	
機能再生・再建科学専攻	
社会環境生命科学専攻	

II 入試日程

出願期間	2018年6月11日(月) ～ 2018年6月19日(火)
試験日	2018年7月7日(土)
合格者発表	2018年7月27日(金)

Ⅲ ARTプログラム特別入試

1 出願資格

次の（１）及び（２）のいずれにも該当する者

（１）次のいずれかに該当する者又は２０１９年３月までに該当する見込みの者

①大学の医学の課程を卒業した者

②学校教育法第１０４条第４項の規定により学士の学位（学位に付記する専攻分野の名称が医学）を授与された者

（注１）出願資格（１）②に該当する見込みの者とは、次のいずれかの者です。

①独立行政法人大学評価・学位授与機構が発行する学位授与申請受理証明書を提出できる者

②学位規則（昭和２８年文部省令第９号）第６条第１項の規定に基づき独立行政法人大学評価・学位授与機構が定めている要件を満たすものとして認定を受けている専攻科に在籍する者で、当該専攻科の修了が見込まれること及び当該者が学士の学位の授与を申請する予定であることを当該専攻科の置かれる短期大学長又は高等専門学校長が証明できる者

（２）岡山大学病院又は岡山市立市民病院で「卒後臨床研修」を受けながら、「大学院博士課程」への入学を志願する者

2 障がい等のある方の出願

障がい等のある入学志願者は、受験上及び修学上特別な配慮を必要とすることがありますので、出願に先立ち、次により相談してください。

相談結果の通知及び特別な配慮に基づく必要な措置を講ずるための所要時間を考慮し、少しでも早く相談してください。

相談締切期限	２０１８年５月１８日（金）
相談方法	「出願に伴う事前相談書」を請求して、医師の診断書及び障害者手帳の写し（交付されている方のみ）を添えて相談してください。
請求先・相談先	「３出願手続の（３）出願書類提出先」に請求・相談してください。

3 出願手続

（１）出願方法

入学志願者は、注意事項に留意し、（５）の「出願に必要な書類等」を、出願期間内に下記の提出先へ持参又は出願期間内に必着するよう「書留・速達」として郵送してください。

（２）出願期間

２０１８年６月１１日（月）～２０１８年６月１９日（火） 必着

持参する場合の受付時間は、各日とも９時００分から１７時００分までとします。

郵送の場合も、期限内に必着としますので、郵便事情等を十分考慮の上、余裕をもって発送してください。出願期間中に一部の書類を提出し、出願期間後に不足する書類を追加提出することは認められません。

なお、封筒表面に「医歯薬学総合研究科（博士課程）ARTプログラム特別入試入学願書在中」と朱書きし、発送時に到着日時を必ず確認しておいてください。

（３）出願書類提出先

鹿田キャンパス

〒700-8558 岡山市北区鹿田町２丁目５番１号

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科等学務課教務グループ

（医学系）大学院担当（管理棟１階） TEL:086-235-7986

(4) 出願上の注意

- ① 出願を希望する方は、あらかじめ志望する教育研究分野の指導教授と面談し、入学後の研究・教育及び修了後の進路について相談してください。
- ② ARTプログラム特別入試により出願を希望する者で、志望教育研究分野が定まっていない場合、入学後1年間に限りARTプログラム推進室教授が指導教授を務めることが可能です。あらかじめARTプログラム推進室教授と面談し、入学後の研究・教育及びキャリアプランについて相談してください。
ARTプログラム推進室教授が指導教授を務める場合、入学後1年の間に研究室の選定を行い、2年目以降の教育研究分野を決めることとなります。教育研究分野の変更には手続きを要しますので、1年目の1月が決定の目途となります。
- ③ 出願書類のうち、英語以外の外国語で書かれた証明書等には、その日本語訳を添付してください。
- ④ 出願後の出願書類等の記載内容についての変更は認められません。
- ⑤ 出願書類受理後は、いかなる理由があっても返却しません。
- ⑥ 出願書類に不備があるもの及び入学検定料に不足のあるものは受理しません。
- ⑦ 出願書類等の記載内容に虚偽の記載があった場合は、入学後においても入学が取り消されることがありますので注意してください。
- ⑧ 改姓(名)前の証明書を使用する場合の提出書類について、志願票の氏名と異なる旧姓(名)の記載された証明書も使用できますが、その場合は、改姓(名)の日付と新旧姓(名)を入学志願者本人が記入した文書(様式は任意です。)を添付してください。

(5) 出願に必要な書類等

出願に必要な書類等	摘 要
①志願票 ・受験票・写真票	本研究科所定の用紙に入学志願者本人が必要事項を記入してください。
②写真	縦4cm×横3cm、上半身、無帽、正面向きで出願前3か月以内に撮影した写真を「写真票」の所定欄ののりで貼り付けてください。貼る前に、写真の裏面に志望の教育研究分野名と氏名を記入してください。
③入学検定料	30,000円(振込手数料が別に必要です。) 入学検定料は、添付の「入学検定料振込用紙」により、金融機関(ゆうちょ銀行又は郵便局を含む。)窓口(ATMは利用できません。)からの振込によって納入し、必ず「入学検定料振込証明書」を志願票の所定欄ののりで貼り付けてください。 [入学検定料の返還について] 次の場合を除き、いかなる理由があっても振込済の入学検定料は返還しません。 ア 入学検定料を振り込んだが出願しなかった(出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった)場合 イ 入学検定料を誤って二重に振り込んだ場合
④卒業(見込)証明書	出身大学長(学部長)が作成したものを提出してください。(卒業証書や学位記ではありません。) ただし、本学医学部医学科出身者は不要です。
⑤成績証明書	出身大学長(学部長)が作成したものを提出してください。 ただし、本学医学部医学科出身者は不要です。
⑥受験票等送付用封筒	長型3号の封筒に、受験票の送付先(入学志願者本人の住所・氏名及び郵便番号)を明記し、372円分の切手を貼り付けてください。
⑦宛名票シール	合格通知及び入学手続書類等の送付用 合格者発表日及び入学手続書類発送時に確実に受理できる住所を記入してください。

⑧受験許可書	本研究科所定の様式によらず、任意の様式でも可。 出願時に、官公署・企業・病院等に勤務し、入学後もその職にある方は提出が必要です。（勤務先が変わる場合は不要）
--------	---

【上記の他、必要によりその他の証明書等の提出を求めています。】

(6) 個人情報の利用目的

提出された出願書類等及び記載されている個人情報は、入学者選抜に係る業務に使用します。

ただし、入学者については志願票に記載された氏名、性別、生年月日、現住所、出身学校等の個人情報を本学学務システムの学生基本情報への登録データとしても利用します。

また、合格者の受験番号、氏名（漢字・カナ）の個人情報については、本学授業料債権管理事務システム及び授業料免除事務システムの業務にも利用します。

なお、入学料免除の申請、入学料徴収猶予の申請、授業料免除の申請及び独立行政法人日本学生支援機構奨学金等への申請があった場合は、申請者本人の入学試験成績及び学業成績証明書を入学料免除等の業務に係る学力判定処理に利用することがあります。

4 受験票の交付

(1) 受験票は、下記のとおり本人あて発送します。

なお、到着予定日までに到着しない場合には、「3 出願手続の(3) 出願書類提出先」に連絡してください。

送付時期	2018年6月26日(火)頃
到着予定日	2018年6月28日(木)

(2) 受験票は、試験当日及び入学手続並びに入試情報開示請求の際に必要となりますので、大切に保管しておいてください。

5 入学者選抜方法等

入学者の選抜は、筆記試験、口述試験及び出願書類等を総合して行います。

(1) 試験日及び試験内容

試験日	試験内容		試験時間
2018年7月7日(土)	筆記試験	英語※1	9:00～10:00
		専門科目 (志望教育研究分野)	10:15～11:00
	口述試験	専門科目 (志望教育研究分野)	11:15～※2

※1 英語の試験には辞書の持ち込みを認めます。(冊子型のみ可。電子辞書は不可。)

- ・持込可能な辞書：英和辞典（ジーニアス、リーダーズ等）、和英辞典、英英辞典
- ・持込不可の辞書：医歯薬学に関する辞典、英和辞典（ステッドマン医学大事典、

南山堂医学英和大辞典、ハイネマン歯科英和辞典等）

※2 詳細は、受験票送付時にお知らせします。

(2) 試験場

試験場については、受験票送付時にお知らせします。

6 合格者発表

合格者の発表は、次のとおり掲示により行います。

日時	2018年7月27日(金) 10時00分(予定)
----	--------------------------

掲示場所	鹿田キャンパス 管理棟 2階	大学院掲示板
------	----------------	--------

- ① 掲示板に合格者の受験番号を公表し、合格者には同日付で合格通知書等を、出願時に提出のあった「宛名票シール」を用いて本人あてに送付します。
- ② 掲示による合格者発表後、公式ウェブサイトにも合格者の受験番号を掲載します。
(<http://www.hsc.okayama-u.ac.jp/mdps/index01.html>)
- ③ 電話等による合否の問い合わせには一切応じません。

7 入学手続

(1) 入学手続方法

入学手続関係書類は、出願時に提出された「宛名票シール」を用いて、2019年2月22日（金）付けで合格者あてに発送します。

(2) 入学手続期間

2019年3月19日（火）、3月20日（水）（予定）

8 入試情報の開示

(1) 開示対象者

2019年4月入学入試の受験者

(2) 開示する内容

- ① 本人の試験成績（総得点、口述試験結果）
- ② 合格者の成績情報（本人が受験した選抜の最高点、最低点 及び 平均点）
ただし、当該選抜の合格者が5人未満の場合は開示しません。

(3) 開示請求方法

「入試情報開示請求書」（所定様式）に受験票を添えて、本人が下記(4)の開示請求受付期間中に、「3出願手続（3）出願書類提出先」に提出してください。

なお、「入試情報開示請求書」は「3出願手続（3）出願書類提出先」の窓口で入手するか、郵送により請求してください。

郵送で請求する場合には、返信用封筒（郵便番号・住所・氏名を明記し、82円分の切手を貼った長形3号封筒（縦23.5cm×横12cm））を同封の上、「受験番号」及び「入試情報開示請求書希望」の旨を明記し、「3出願手続（3）出願書類提出先」に送付してください。

(4) 開示請求受付期間

2019年5月1日（水）～6月28日（金）まで
9時00分～17時00分（土・日曜日、祝日は除く。）

（注） 郵送による開示請求の場合は、期間内の消印があるものに限り受け付けます。

(5) 開示方法

「入試情報開示請求書」受理後、通知書の準備ができ次第、速やかに開示（発送）します。

※ ただし、2019年4月入学者から2019年6月より前に請求があった場合については、6月以降の開示とします。

請求書類に不備があるときには、受理しない（修正を求める）ことがあります。

9 その他

(1) 入学料及び授業料

入学料 282,000円 [予定額]
授業料（前半期・後半期共） 267,900円（年額 535,800円） [予定額]

※ 入学時及び在学中に改定が行われた場合には、改定時から新たな金額が適用されます。

(2) 修学援助

修学援助の一環として、入学料免除・徴収猶予、授業料免除及び奨学金等の制度があります。

- ・ 学業成績及び収入状況等の条件を満たしていれば、申請により、入学料又は授業料の全額又は半額の免除を受けられる場合があります。
- ・ 学業成績及び収入状況等の条件を満たしていれば、申請により、各種奨学金の支給又は貸与を受けられる場合があります。
- ・ ART プログラム奨学金（貸与型）の制度を設けています。申請の後、面接及び書類審査等により採用されれば、奨学金の貸与を受けられる場合があります。ただし、岡山大学病院又は岡山市立市民病院で「卒後臨床研修」を受けない場合は、ART プログラム奨学金の申請はできません。

（3）昼夜開講制及び長期履修制度について

博士課程では、社会人の受講に便宜を図るため、大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例（昼夜開講制）を適用し、昼間だけでなく夜間等（土曜日、夏季・冬季休業など）においても授業及び研究指導を行っています。勤務しつつ入学する方は、入学手続き時に昼夜開講制を申請するようにしてください。

また、職業を有していることによる修学の困難さに対して、標準修業年限（4年）を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修することができる「長期履修制度」を導入しています。

IV 研究科案内

大学院医歯薬学総合研究科は2つのキャンパスに分かれており、博士課程のほか、次の各課程・専攻で構成されています。

課 程	専 攻	修業年限	授与する学位の名称	キャンパス
博士課程	生体制御科学専攻 病態制御科学専攻 機能再生・再建科学専攻 社会環境生命科学専攻	4年	博士(医学), 博士(歯学), 博士(薬学), 博士(学術)	鹿田キャンパス (医学系・歯学系) 津島キャンパス (薬学系)
修士課程	医歯科学専攻	2年	修士(医科学), 修士(公衆衛 生学), 修士(歯科学), 修士 (学術)	鹿田キャンパス
博士後期課程	薬科学専攻	3年	博士(薬科学), 博士(学術)	津島キャンパス
博士前期課程	薬科学専攻	2年	修士(薬科学)	津島キャンパス

博士課程

1. 組織及び研究内容

14ページからの「VI 教員組織と研究内容」を参照してください。

2. 修了要件

所定の30単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、研究科の行う学位論文の審査及び最終試験に合格すること。修了要件を満たした者には、上記の学位が授与されます。

3. 博士課程の履修コース及び履修方法

博士課程には、以下の7つの履修コースを設けています。

詳細は、医歯薬学総合研究科公式ウェブサイト <http://www.hsc.okayama-u.ac.jp/mdps/index02.html> を参照してください。

右記のQRコードからアクセスすることができます。また、入学後の授業日程についても、HPにて確認できます。

- (1) 一般コース
- (2) 臨床専門医コース(医学系)
- (3) 臨床専門医コース(歯学系)
- (4) がんプロフェッショナルコース(医学系)
- (5) がんプロフェッショナルコース(薬学系)
- (6) 分子イメージング教育コース
- (7) アカデミックGP養成コース



(1) 一般コース

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科がこれまで実績を挙げてきた共通コア科目（研究方法論基礎・応用と課題研究）及び専門科目により研究手法の修得と論文の作成を行うコースです。

2008年からは、更に学際的な内容に対応できるよう専門科目に副科目制を導入し、他の教育研究分野の指導を受ける体制を整えています。

履修方法

授 業 科 目	単位数	履修方法概要
研究方法論基礎	5	4月から9月に開講する研究方法論の基礎に25回、 応用に20回出席
研究方法論応用	4	
課題研究	5	課題研究セミナーに6回以上出席（うち1回発表）
専門科目		所属する教育研究分野の「講義・演習」「演習・実習」を履修 他の教育研究分野の「講義・演習」を履修
主科目（所属する教育研究分野）	12	
副科目（他の教育研究分野）	4	

(2) 臨床専門医コース（医学系）

高度な専門的臨床能力の修得及び臨床研究を理解し実践できる能力を修得することを目的としたコースです。全人的な視野を持った患者診療並びに国際的視野を持った臨床研究の実践も目指し、専門医資格取得のための準備期間としても役立つコースです。

臨床研究において特に重要となる「疫学」、「医療統計学」及び「臨床研究疫学」関連の授業科目を重点的に履修します。

履修方法

授 業 科 目	単位数	履修方法概要
研究方法論基礎	3	4月から9月に開講する研究方法論基礎に15回出席
研究方法論応用	6	「疫学講義」「医療統計学」「臨床研究・ゲノムインフォマティクス実践論」の3科目の履修で6単位
課題研究	5	課題研究セミナーに6回以上出席（うち1回発表）
専門科目		所属する教育研究分野の「講義・演習」「演習・実習」を履修 他の教育研究分野の「講義・演習」を履修
主科目（所属する教育研究分野）	12	
副科目（他の教育研究分野）	4	

(3) 臨床専門医コース（歯学系）

高度な専門的臨床能力の修得及び臨床研究を理解し実践できる能力を修得することを目的としたコースです。全人的な視野を持った患者診療並びに国際的視野を持った臨床研究の実践も目指し、近年の専門医制度と同調し、専門医資格取得のための準備期間としても役立つコースです。

履修方法

授 業 科 目	単位数	履修方法概要
研究方法論基礎	2	4月から9月に開講する研究方法論の基礎に10回、 応用に10回出席
研究方法論応用	2	
課題研究	6	課題研究セミナーに6回以上出席 (うち1回発表, 臨床研究デザインワークショップ1回出席)
専門科目		所属する教育研究分野の「講義・演習」「演習・実習」を履修
主科目1	9	
主科目2	9	
副科目(他の教育研究分野)	2	

(4) がんプロフェッショナルコース（医学系）

がんにて化した臨床研究方法の理解と実践, トランスレーショナルリサーチの実践ができる人材の育成を行い, 地域でのがん均てん化に役立てることを目的としたコースです。

履修方法

授 業 科 目	単位数	履修方法概要
研究方法論基礎	2	4月から9月に開講する研究方法論基礎に10回、 応用に10回出席
研究方法論応用	2	
その他のコア科目 悪性腫瘍の管理と治療 医療倫理と法律的・経済的問題 医療対話学 がんチーム医療実習 医療情報学	1 0.5 0.5 0.5 0.5	全科目必修
がん専門医・薬剤師共通科目 がんのベーシックサイエンス・臨床薬理学 がん臨床検査・病理診断・放射線診断学 臓器別がん治療各論 がん緩和治療	1 0.5 2 0.5	全科目必修
臨床腫瘍医専門科目 臨床腫瘍学実習 専門研究	1 4 5	所属する教育研究分野で実施 課題研究セミナーに5回以上出席(うち1回発表)

(5) がんプロフェッショナルコース（薬学系）

がんに特化した臨床研究方法の理解と実践，トランスレーショナルリサーチの実践ができる人材の育成を行い，地域でのがん均てん化に役立てることを目的としたコースです。

履修方法

授 業 科 目	単位数	履修方法概要
研究方法論基礎	5	4月から9月に開講する研究方法論基礎に 25 回出席
研究方法論応用	6	「疫学講義」「医療統計学」「臨床研究・ゲノムインフォマティクス実践論」の3科目の履修で6単位
その他のコア科目 悪性腫瘍の管理と治療 医療倫理と法律的・経済的問題 医療対話学 がんチーム医療実習 医療情報学	1 0.5 0.5 0.5 0.5	全科目必修
がん専門医・薬剤師共通科目 がんのベーシックサイエンス・臨床薬理学 がん臨床検査・病理診断・放射線診断学 臓器別がん治療各論 がん緩和治療	1 0.5 2 0.5	全科目必修
臨床腫瘍専門科目 がん治療修練 がん専門薬剤師特論 がん薬物治療実技演習 集学的治療薬特論 臨床薬理学特論 専門研究	1 2 1 2 2 4	全科目必修 専門研究については，課題研究セミナーに4回以上出席（うち1回発表）

(6) 分子イメージング教育コース

このコースは，岡山大学大学院医歯薬学総合研究科と（独）理化学研究所ライフサイエンス技術基盤研究センター（理研CLST）が協力し，連携大学院を設置して分子イメージング技術を修得するコースです。

分子イメージングとは，生体内での分子の挙動をリアルタイムに可視化する手法で，その可視化は，非侵襲的に行えるのが特徴です。汎用される分子イメージング技術には，光イメージング（蛍光，発光），磁気共鳴イメージング（MRI）及び核医学イメージング（PET，SPECTなど）があり，今日，わが国の科学技術政策においても推進される重要研究分野です。この技術は，医学，歯学，薬学はもとより，物理学（加速器科学，核物理学），化学，工学などの境界・複合領域も含む基盤技術からなり，臨床応用や基礎医学研究に資する技術として，大きな期待が寄せられています。

このコースでは，岡山大学や理研CLSTなどにおける分子イメージング科学研究の第一線の研究者により，基礎から臨床応用にわたる広範な講義並びに演習や，おかやまメディカルイノベーションセンター(OMIC) や理研CLSTでの実習等が予定されています。

履修方法

授 業 科 目	単位数	履修方法概要
研究方法論基礎	5	4月から9月に開講する研究方法論の基礎に25回、応用に20回出席
研究方法論応用	4	
課題研究	5	課題研究セミナーに6回以上出席（うち1回発表）
専門科目		所属する教育研究分野の「講義・演習」「演習・実習」を履修 必修科目
主科目（所属する教育研究分野）	8	
分子イメージング科学（講義・演習）	2	
分子イメージング科学（演習・実習）	4	
PET 科学アカデミー	2	必修科目

(7) アカデミックGP養成コース

このコースは、専門科を超えた疾患に対応できる臨床と総合診療に関連した、地域の問題解決型臨床研究を行うコースです。総合診療に携わる医療人が、診療の現場で感じた個々の臨床的疑問をシーズに、基礎研究から臨床研究まで幅広く行うことが特徴です。臨床研究では、質的研究の成果を疫学モデルへと繋ぎ、プライマリケア領域の課題解決へ向けた臨床研究を実際に行うことにより、総合診療におけるEBMを発信できる研究を目指しています。診断学・治療学・疫学・倫理学・社会学など、横断的・統合的な研究・教育能力をもつ医療人を育成するためのコースです。

履修方法

授 業 科 目	単位数	履修方法概要
研究方法論基礎	4	4月から9月に開講する研究方法論の基礎に20回、応用に20回出席
研究方法論応用	4	
課題研究	4	課題研究セミナーに4回以上出席（うち1回発表）
統合科目	2	必修科目
専門科目		所属する教育研究分野の「講義・演習」「演習・実習」を履修 他の教育研究分野の「講義・演習」を履修
主科目（所属する教育研究分野）	12	
副科目（他の教育研究分野）	4	

V 人材養成目的と教育目標

■生体制御科学専攻

生体では、分子が細胞・組織を構成し、さらに高次レベルで統合され、器官・システム・個体が階層的に構成され、秩序を保って制御を受けている。疾患はこれらの制御と統合の乱れとして理解される。本専攻では、生命現象を包括的に捉え、生体の制御機構を明らかにし、疾患の成立機序の解明と治療に結びつける研究を推進・展開する。このような研究基盤を踏まえて、例えば、ヒトゲノム解析の研究成果を基盤として、正常時から疾患時における特定の細胞・組織・器官・システムの生命現象を分子制御機序に基づいた現象として理解すると共にそれを先端的医療へ応用・展開することのできる高度な専門的研究指向能力を備えた医療人を育成する。さらに、地域的・国際的な場で強い指導力を発揮できる高度な専門的実地指導推進型の医療人を養成する。

この人材養成目的を実現させるため、国際的視野に立つ豊かで高度な情報力と医療実践能力を涵養し、以下に示す専門分野の研究能力と専門的指導力を身に付ける教育を目指す。

- 1) 正常時から疾患時における、特定の細胞・組織・器官・システムにおける分子制御機序に基づいた包括的生命現象の基礎的理解とそれに基づく臨床的応用展開
- 2) 正常時から疾患時における、入出力系を介して高次で統合する脳神経・感覚器系の機能制御機構の基礎的理解とそれに基づく臨床的応用展開

■病態制御科学専攻

病態を科学的に解明し、その分析結果から病態を制御する方法を創造することは医学・医療の基本的理念に基づくが、それが効率的になされるためには、基礎医学と臨床医学の有機的な連携が不可欠である。特に先端的な医療である遺伝子治療、移植医療、放射線医療においては、基礎的なおかつ革新的な研究成果の具現化が、有効な臨床成果につながっていく。本専攻は、基礎研究の成果をトランスレショナル・リサーチとして臨床研究に取り入れ、これを再構築し、先端的な制御医学を開発・臨床応用できる人材の養成を目指すとともに、腫瘍をはじめとする病態を臨床的な視点から科学的に分析し、臨床成果に直結する臨床研究を行える人材の養成を目指す。

この人材養成目的の実現を図るために、以下の教育目標を掲げる。

- 1) ヒトゲノム解析の概念の理解、ゲノム情報に基づいた病態整理と疾患概念についての創造的な考察、遺伝子と細胞制御ならびに情報伝達制御を基盤として個々の病態に的確に反応する治療方法の開発と臨床応用の推進
- 2) 移植後の拒絶反応と臓器機能不全のメカニズムの理解とこれらの現象を制御する研究の推進
- 3) 病態機構の理解と特に腫瘍に焦点を当てた腫瘍の遺伝子治療や免疫治療の理解
- 4) 分子標的診断、治療の画像診断やPETなどの核医学診断を用いる新しい手法の理解
- 5) 統計学、疫学の系統的な学習と臨床研究の手法の理解
- 6) 医薬品の薬効評価、体内動態特性評価、高次機能を有する製剤化、適正使用など新規薬物療法の開発研究の推進

■機能再生・再建科学専攻

21世紀の医療は、高度高齢化社会の到来により必然的に自己治癒能力の低下した患者への対応が要求され、且つ生活の質 (quality of life) の向上という社会的要求にも応える責務がある。硬組織及び軟組織の損傷あるいは欠損を生じた場合、その組織の機能回復には自・他家の組織、または人工材料を用いるにしても組織再生・再建が必須である。そのためには組織の形成機構ならびに機能制御の本質を臓器・組織から分子レベルまで分析・熟知する必要がある。この専攻系は生体機能・形態を再生・再建の観点から基礎および臨床の面から総合的に研究し、新しい再生・再建医療のスペシャリスト養成を目指すとともに、同分野の専門医の養成も目標として掲げる。

この人材養成目的の実現を図るために、以下の教育目標を掲げる。

- 1) 細胞・組織の機能、構造について分子レベルから器官形成に至るまでの基礎研究と、それらに基づいた組織再生・再建への臨床応用研究の推進
- 2) 組織、器官別の生体材料開発と共に生体材料と生体の相互作用の解析ならびに患者の quality of life 向上を目指した臨床応用研究の推進
- 3) 生体の各領域が特異的に有する生命現象の多面的機能解析の推進
- 4) 生体が本来有する組織・器官の機能、形態の再生・再建制御機構の解析と臨床応用研究の推進
- 5) 口腔・顎・顔面領域特有の機能の多面的解析を行い、総合的な機能再生・再建研究の推進

■社会環境生命科学専攻

本専攻では、21世紀の医学・医療が抱える問題を人権擁護・生命倫理の観点から捉え、研究方法論の構築を通して解決の道を模索する。また、全ての人々に保証されるべき生命と健康を脅かす環境問題、地球温暖化に伴う医学的問題、並びに新興・再興感染症など、地球規模で取り組むべき課題への解決策を探求出来る、高度な専門的研究指向能力を備えた医療人を育成する。更に、確実に到来しつつある長寿社会における、社会構造並びに疾病構造の変化に対応した医学・医療を探索することが出来、健康の意味と尊厳ある生活とは何かを思考する人材の養成を目指す。

この人材養成目的の実現を図るために、以下の教育目標を掲げる。

- 1) 生命倫理（ないし医療倫理）についての理解
- 2) 生きる権利をも脅かす犯罪、事故(特に医療関連死)などに関する権利侵害と外的要因との医学的因果関係解明に必要な思考・方法論の修得
- 3) 生活環境や職場環境における微量化学物質曝露に対する、また、新興・再興感染症や薬剤耐性菌などに対する総合的な対策の理解
- 4) 従来 of 病気を発想の原点とする学問(disease-oriented concept)に対し、健康を発想の原点とする学問(health-oriented concept)の構築
- 5) 医療情報の特性、情報通信技術、医療情報システムについて学習し、システムとしての保健・医療を理解